

考える力を高める社会科授業 ～3つの工夫はこれだ～

社会・公民班 大澤 智（中学校教諭）

社会科の授業で、生徒の考える力を高めるには、どうすればよいのでしょうか？

次の3つを工夫した。

◇3つの工夫

1. 資料提示

2. 発問

3. 意見交流



◇3つの工夫で考える力を高める

「日本のエネルギー事情について考えよう」

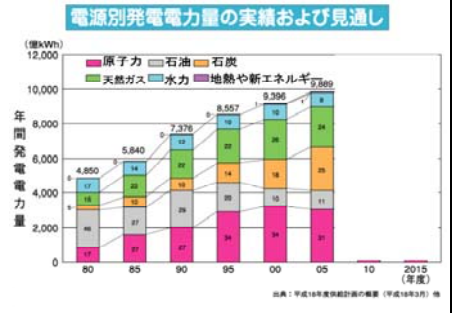
工夫1. 資料提示「隠す」

導入では、「電源別発電電力量の実績及び見通し」（平成18年度供給計画の概要＜平成18年3月＞他から引用）を提示した。このとき、2010年、2015年のデータを隠して提示した。（【資料】参照）

このグラフを見て、気付いたことを発表させたところ、中心発問につながるような意見も出された。

「2010年、2015年が分かっていない。これから先の発電量はどうなるのだろう。」

【資料】



工夫2. 発問「価値判断型にする」

上の生徒から出された疑問とつなげながら、以下の中心発問をした。

日本は、今後、何発電の割合を増やすべきだと思いますか。

正解を問う発問ではなく、生徒自身の意見を問う価値判断型の発問にしたため、多くの生徒がこれまで調べた資料を根拠に自分の考えをノートに書くことができた。（【生徒のノート】参照）

工夫3. 意見交流「ステップを踏む」

①自分の考えをノートに書かせる

まず、考えが1つ書いたらノートをもってこさせ、丸をつけてあげて、おおいにほめた。

②小集団で意見を交流させる

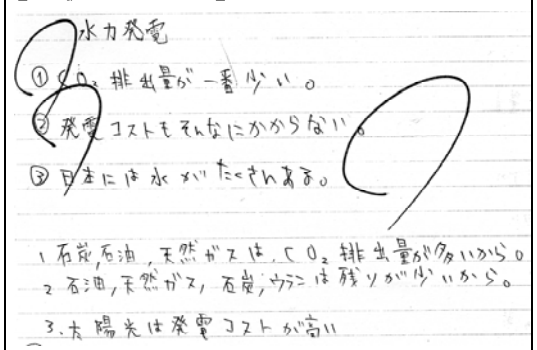
次に、小集団にさせ、友達と意見を交流させることにより、生徒は様々な見方や考え方に気付いた。

③クラス全体で意見を交流させる

そして、列指名、挙手指名、意図的指名など多様な指名方法によりクラス全体で意見を交流させた。

このように、ステップを踏んだことにより、生徒は自分の考えをノートにたくさん書き、クラス全体の交流では、全員が1回以上、意見を発表することができた。

【生徒のノート】



以上、3つの工夫によって、クラス全体の交流では、様々な資料を根拠にたくさんの意見が出された。このような話し合いの中で、生徒は、社会的事象を関連付けながら考える力を高めることができた。

今後は、生徒の話し合いが、より深まるような手だてを追究していきたい。

＜担当指導主事 研究企画係 中西信之＞